

子どもたちからの「えっ!」、大人の「おお!」「えっ!」

202601

1. 切った果物と切っていない果物

Let's Try!2 に戻ると、フルーツパフェやピザ作りの活動があります。

普段は、冠詞がつく・つかない、単数・複数と注意することが多いので、普段あまりしませんが、お正月のお年玉として特別に、フルーツパフェ作りの活動をしました。



“What do you want?”

“I want banana./ Banana, please.”

“I want a strawberry / strawberries.”

“How many (strawberries)?”

“Two, please.”

と、デモンストレーションして、やり取りの違いを尋ねると、「どうして?メロンやバナナは How many...?とたずねないの。」と子どもたちから疑問がでました。

「どうしてだと思う?」と聞くと、

「あっ、切れているからだ!」と、子どもたちは自分で答えを見

つけていました。

そして、さらに、質問がでました。切られたバナナもパイナップルも数えられるよ! How many bananas?と聞いちゃあだめ?...あまり詳しく言わなくても、How many cherries do you want?はいいけど、How many bananas do you want?は変だ、パフェにバナナが丸ごと1本、2本盛り付けるのは変だと気がついたようです。子どもたちからどんどんと質問が出てきて、自ら学びを深めていった一場面でした。